

# 途 上



題字：副校長 文責：教頭

暦も8月から9月へと変わり、朝夕の風の心地よさが秋の気配を感じさせてくれます。学校では今週から運動会に向けた特別時間割が始まり、学年種目の練習に励む子どもたちの姿が見られます。今号では、先日の副校長講話での小池副校長先生の話と、運動会へと向かう子どもたちの様子をお伝えします。

\*\*\*\*\*

## 聞こえないけれど“ある” ～小池副校長先生から～

全校の皆さん、おはようございます。

(9月1日 副校長講話)

新型コロナウイルス感染症の感染はまだおさまっていません。身近な人でPCR検査をしたという人もいるかもしれません。新型コロナウイルスは誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。報道では、感染した人にこころない言葉をかけたり、張り紙をしたりすることが起こっています。差別をしない、させない、許さない。自分の心の中にある弱い心とも向き合っていく時です。

さて、7月にウイルスのお話をしましたね。ウイルスは人間の目には見えなけれどあるというお話でした。今日は、目ではなく、耳のお話をします。人間の耳には聞こえないけれどあるというお話です。

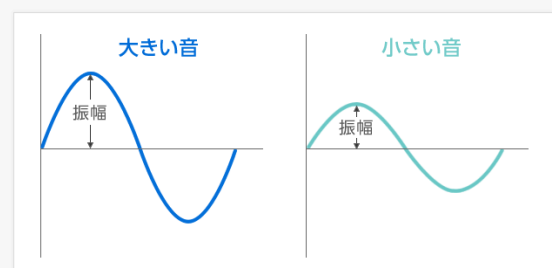


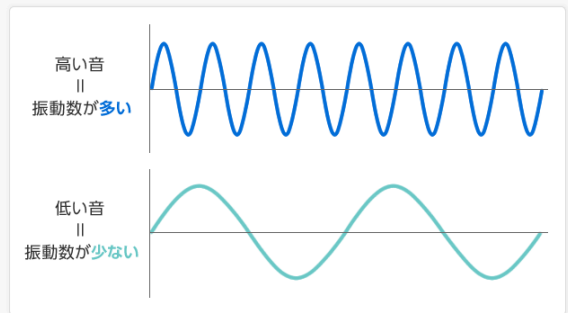
この写真は茶臼山動物園の「フー子」です。42歳になるそうですが、愛知県の動物園から5歳の時にやってきました。夏休みに会いに行きました。この動画を見てください。大きな鳴き声を出しています。この鳴き声は皆さんの耳に届いたと思います。まず、「聞こえる」とは、どういうことかということ、まず、この音が空気を振るわして伝わって、皆さんの耳に届きます。それが耳の中の鼓膜を振るわせて、人は音として感じます。この時、大きな振るえであれば大きな音、小さな振るえであれば小さな音になります。また、振るえが速いと高い音、振るえが遅いと低い音になります。

今日は、この音の高さを見ていきます。

先ほどはフー子の鳴き声を聞いてもらいました。でも、ゾウさんはいつも、その声を出しているわけではありません。別の声

音の大きさ(強さ)と振幅





も出しているということがわかってきました。それを「超低周波音」といいます。この音は「低周波音」の中でも特に低く、人間の耳ではほとんど聞こえない音です。ちなみに低周波音には、大きな滝の水が滝壺に落ちる音や波が防波堤で砕ける音、高速道路で窓を少し開けた時の「ブォー」という音などがあります。

ゾウさんはもっともって振動数の少ないゆったりとした低い音を出しているのです。人には聞こえない声を使ってお互いのコミュニケーションをとっているそうです。この長く緩やかな音の波は、どれだけ密集した森の木々にも邪魔されずに伝わります。深い森の中でも変化したり力を失ったりせずに、何キロも離れたゾウ同士でやりとりができるそうです。ですから、全く姿の見えないゾウ同士が、同じ距離を保って川に向かって行ったり、何週間も会わない相手と同じタイミングで、別々の方向から泉にやってきたりするということがあるのだそうです。

そして、これからお話するのは『エレファントム～象はなぜ遠い記憶を語るのか～』という本に書いてあったことです。著者のライアル・ワトソンが少年時代を過ごした南アフリカ共和国のクニスナの森にはかつて何百という数のゾウが暮らしていました。ゾウは何頭かのめすゾウが共同で子育てをするというものです。しかし、アフリカでは象牙を得るために、多くのゾウが殺されました。クニスナの森では、1981年にはわずかに三頭が確認されただけです。そして、1990年にはたった一頭のめすゾウだけがそこにいることが分かりました。人々はそのめすゾウに「<sup>たいぼ</sup>太母(メイトリアーク)」と名付けました。

その数年後、当時アメリカにいた著者のワトソンのもとに、このめすゾウが行方不明になったという知らせが届きました。いてもたってもいられなくなったワトソンは、急ぎょ南アフリカ行きを決めます。いつも仲間同士で連絡を取り合ってきたゾウ、ましてや群れて暮らしてきためすのゾウがたった一頭になった時、このゾウはどうするのか、そして、どこにいるのか。ワトソンは探します。ワトソンには、きっとここにいるに違いないと思う場所がありました。それは、クニスナの森を出て国道を越えたところ。そこは、アフリカの台地がとぎれ、がけになり、切り立ったがけ下は大きな海が広がっている場所。一面の海が見渡せるところにいるのではないかという予感です。そして、本当にそのめすゾウはそこにいたのです。

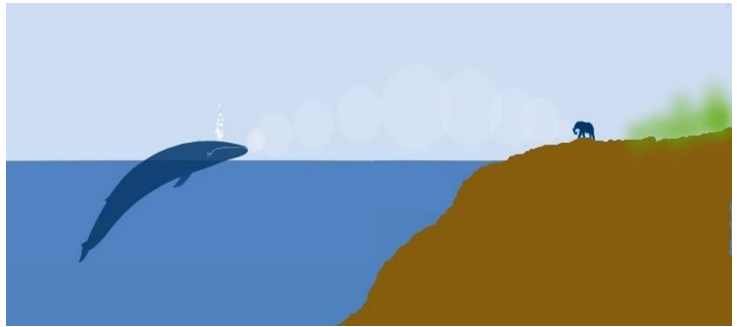
そのことだけでも大変なことなのですが、その後、さらに驚くべきことが起こりました。それは、「空気の鼓動」が戻ってきたのをワトソンが感じ、何だろうと思っていたら、海からシロナガスクジラが海面に浮かび上がり、潮を吹き、じっと岸の方を向いたのです。

ワトソンは語ります。

「メイトリアークは、この鯨に会いに来ていたのだ。海で最も大きな生きものと、陸で最も大きな生きものが、ほんの100ヤード(約90m)の距離で向かい

合っている。そして、間違いなく、意思を通じ合わせている。超低周波音の声で語り合っている」

私たち人間には聞くことのできない声で、ゾウとシロナガスクジラが語り合っています。私たちには聞こえませんが、何を話しているか想像することができます。この生きものたちは何を話していたのでしょうか。



今日は、「聞こえないけれどある」というお話をしました。私たちの学校にも動物たちがいます。育てている植物があります。その声に耳を傾けてみてはどうでしょうか。以上で、副校長先生のお話を終わります。

副校長先生のお話が終わると、1年1組の大畑先生は子どもに、「ゾウさんはシロナガスクジラさんに、どんなお話しているのかな」と問いかけます。すると、子どもたちから、「友だちが殺されちゃったんだよ」「人間にはパオ〜ンしか聞こえてこないけど、さみしい気持ちを伝えたいと思う」「ひとりぼっちになっちゃった」と、自分が感じたことを、思ったことを、クラスみんなに伝えていました。

そして、大畑先生が続けて、

「あさがおの種をみんなで蒔いてから、今日が64日目です。こ〜んなに小さかった種から、みんなの朝顔はどんどん大きくなって、花を咲かせたよね。今日もお花開いているよ。朝顔さんのどんな声が聞こえてくるかな。」

と、みんなに問いかけると、一斉に朝顔が咲く『あさがおドーム』へと駆けていきました。

押し花の活動が始まっているので、子どもたちは、咲いている朝顔を摘み始めました。お気に入りの朝顔を摘むと、自分の顔に近づけ、朝顔の色合いの美しさに見とれていましたが、朝顔と会話をしているように見えました。

「きれいに、咲いたね」「明日も咲かせてね」

「もっともっと咲いてよね」

そんな声が、私には聞こえてきました。



\*\*\*\*\*

From 『え〜んやこ〜ら』 to 『美と力』

夏休み直前、6年生は、1組2組ともに、『え〜んやこ〜ら』のかけ声に合わせて、学校でつくる“谷浜鍛錬会”を実現させ、小学校生活最後の水泳学習を行いました。1組では25分間泳を、2組では最後の25m泳を行いました。

25分間泳では、当日泳ぐことができずプールサイドから仲間の懸命な泳ぎに声をかける姿がありました。体をくの字にして、めいっぱいの声で「え〜んやこ〜ら」を発していました。

25m泳では、水への恐怖心がありながらも、25mを泳ぎ切ろうとする仲間に、クラスの全員が思いを1つに声援を送り続ける姿がありました。どちらも感動的な場面でした。谷浜へは行けなかったという事実以上に、そういう中でも今自分たちで考えてできることを実現させたことが、なんとも誇らしげでした。

次は、いよいよ運動会での『美と力』です。5年生と一緒に、伝統の『美と力』に挑戦するわけですが、3密を回避した取組という壁があり、例年通りに行くことはできません。そんな中、5・6年生の合同練習を覗くと、6年生が5年生に倒立の仕方や足の受け止め方を教えている場面がありました。去年を経験しているからこそ伝えられることを、口での説明だけでなく、やって見せながら5年生に届けていました。「そこをね」や「ここをね」と指示語が飛び交いつつも、やって見せながらの説明なので、5年生は納得して聞いているようでした。

“例年通り”の言葉が通用しない今年の運動会。この事態を強みに変えて、全校1つになって、そこには居ないけど居る保護者の思いを、仲間とのつながりを感じながら、日々の取り組みを大切に、当日を迎えたいと思います。



## 学校からのお知らせ

### (1) 9月6日(日)に行われる『秋の除草作業』について

秋の除草作業に参加される保護者の皆様、当日はよろしくお願いたします。集合時刻は7:50、作業時間は8:05~9:05の一時間、解散は9:20を予定しております。当日は暑さが予想されます。暑さと紫外線対策をとっていただくとともに、3密にならないよう作業を行うようお願いいたします。雨天中止の場合には、当日朝6:00にメールいたします。

### (2) スクールサポート隊募集について

スクールサポート隊へのご回答ありがとうございました。50名を超える方に所属いただきました。メールでもお伝えしましたが、今後もサポート隊員を募集いたします。賛同される方は、こちらのQRコードよりお願いします。



### (3) 運動会について

今年度の運動会は感染状況を鑑み、25日(金)に参観をなくした、半日開催で実施することとなりました。なお、6年生保護者の皆様は当日中学校にて説明会があるので、それを終えてから『美と力』を参観できるように予定しております。